

南丹市健幸まちづくり推進協議会 先進地視察報告

- 日時：令和5年11月16日（木）
- 視察先：大阪府高石市
- 視察者（敬称略）：伊藤副会長、川勝、小崎、山下、小泉、上菌、清水（委員代理）【職員】福祉保健部長 矢田、保健医療課 大谷、八田、上西、山本、観光交流室 塩見、商工課 國府



大阪府 高石市
～子育てするなら、高石市～

市域 11.30km²
人口 56,416人 (R6.1)
(65歳以上 15,652人
27.7%)
世帯数 26,366世帯

堺市に隣接
難波まで30分、梅田、関西空
港ともに電車で約45分

平成23年に少子高齢化による地
域活力の低下を防ぎ、また国保
などの医療費や介護給付費を抑
制するため、「スマートウェル
ネスシティ総合特区」に参加。

市民の約7割の人が運動量不足、
市民に歩いてもらうための環境
整備や仕組み作りを実施

ハード事業：健幸づくり拠点と
ウォーキングコースの整備。

ソフト事業：健幸づくり教室・
市民参加型のウォーキングイ
ベント（年2回）・市民ボランテ
アの自主的な運営による健幸
ウォーキングの開催など

歩きたくなるまちづくり 南海中央線・芦田川ふるさと広場（ウォーキングロード）

芦田川ふるさと広場は、河川改修に合わせて、親水空間を兼ね備えたウォーキングロードとして整備された。

休憩場所や健康遊具を設置し、快適にウォーキングを楽しめるような環境となっている。



歩きたくなるまちづくり 南海中央線・芦田川ふるさと 広場（ウォーキングロード）



整備後



整備前



歩きたくなるまちづくり

空が広がる、川のほとり：親水空間、夜も安心：街路灯



健幸ダンス教室

目的：認知症予防と介護予防（2019年度～）

レッスン用のDVDを見ながら、楽しく踊る



シニア向けスマホ教室

市内在住の60歳以上を対象
スマートフォンの基本操作、
LINE、Zoomの利用方法を学
ぶ教室

行政サービスのDX化をすすめるた
め、シニア層への普及を促進

講師は、市が契約する「モバイル
パートナー」



健幸ポイント事業

平成26年から3年間の成果：一人あたり**7.7万円の医療費抑制効果**や身体活動量の向上

令和2年6月から、福岡県飯塚市、奈良県田原本町、鳥取県湯梨浜町と「飛び地型自治体連携プロジェクト」（当市と同じ）を実施。

現在、参加者は**目標人数の4,000人**に達している。

年間交換ポイントの上限を新規参加者と継続参加者で分けることで、参加者増と予算の圧縮を図っている。

高石市健幸のまちづくり協議会

平成29年に、市民、民間企業、関連団体や学術団体などが一体となつて、知恵を出しあい健幸で長生きできるまちづくりを進めて行くための協議の場として、高石市健幸のまちづくり条例に基づき設立。

【3つの分科会で構成】

- ① **健幸づくり事業分科会**：主に健幸ポイント事業を始めとした市民に直接事業を提供することや会員企業の健康経営の支援を行う
- ② **健幸リビング・ラボ運営分科会**：市民のニーズや行政課題に合致した商品サービスの開発を行う
- ③ **健幸フェスティバル&高石マルシェ分科会**：協議会の取り組みの情報発信や健康情報の普及啓発を行うイベント運営を行う

健幸リビング・ラボ事業について

市健幸のまちづくり協議会が先導役

市民のニーズや市の行政課題に合致した商品・サービス開発を民間事業者と市民が一体となって行うとともに、**ヘルスケア産業の育成**を図る拠点

4つの場

協働

交流

創造

活躍

企業にとっては、新商品やサービス開発の機会に、健幸ポイント参加者等の健幸モニターの協力を得て、さまざまなフィードバックを得ることができる。

元気な高齢者を中心とした人材バンクを設置し、新製品開発などの支援を行っていただくことで、生きがいを得ながら仕事をする喜びを体感してもらい、市民の健康増進のきっかけづくりに繋げている。